

共同利用できる合葬式施設の整備に関する意見等
優先的に取り組むべき内容について

旭川市合葬式施設検討会議
座長 信木晴雄

旭川市合葬式施設検討会議は、旭川市長から合葬式施設の整備の在り方等について意見を求められ、検討を行ったものである。

検討した内容を市に伝える方法として、共同利用できる合葬式施設の整備に関する意見等（以下、「意見集」という。）を作成した。

今後、市が合葬式施設を整備するに当たり、会議として次のとおり提言する。なお、詳細については意見集に記載している。

- 1 合葬式施設は、承継等に不安を感じる市民や価値観の多様化へ対応する手段として有効な施設であり、将来にわたって、市民の安心な暮らしを確保するために必要である。
- 2 合葬式施設の方向性として、市民のお墓、地域の特色を活かした施設、将来に負担をかけない施設であることが必要であり、今後、早期に整備すべきである。
- 3 整備する合葬式施設は、早期整備と施設の方向性を実現できる環境として旭川聖苑が最も優れた候補地であること、そして、公園的要素やモニュメントなどにより簡素であってもシンボル性が高い施設とすること。

共同利用できる合葬式施設の整備に関する意見等

平成27年12月
旭川市合葬式施設検討会議

目次

はじめに	1 P
1 現状認識	2 P
2 合葬式施設の必要性	4 P
3 合葬式施設の方向性	5 P
4 具体的な施設のイメージ	6 P
5 その他意見	10 P
6 むすび	10 P
○ 旭川市合葬式施設検討会議の開催状況等	11 P
○ 旭川市合葬式施設検討会議委員名簿	12 P

<資料>

資料1 墓地、合葬式施設に関する市民アンケート調査についての集計結果

資料2 「共同利用できる合葬式施設の基本的考え方」

はじめに

少子高齢化の進行や超高齢社会への対応は全国的に深刻な問題となっており、それに伴う価値観の多様化等により、お墓に対する考え方や取り巻く環境が急激に変化している。

旭川市においても、墓の継承に不安を抱く市民から共同で利用できる合葬式施設を望む声が多数寄せられたことなどを背景として、今年度から同施設の整備について調査、検討を始めている。

今回、旭川市合葬式施設検討会議（以下「会議」という。）は、この施設整備の在り方等について旭川市長から意見を求められた。

会議では、市民が安心して暮らせる環境づくりを進めるために必要な施設の在り方等について、5回にわたる意見交換を重ね、その中で得た情報を全員で共有し、それぞれが抱く施設のイメージや思い等を出し合った。

そして、このたび合葬式施設について検討するという会議の役割を果たすため、検討した内容を分かりやすく伝えたいとの考えから、委員各自の合葬式施設に対する意見等を「意見集」という形で取りまとめた。

なお、会議の共通した意見のほか、個々の意見について、特に留意が必要と思われるものを併記する方法により整理した。

本意見集が今後の旭川市における合葬式施設整備の検討において有効に活用されることを望むとともに、市民が安心して暮らせる環境づくりに寄与できるなら望外の喜びである。

旭川市合葬式施設検討会議委員

座長 信木 晴雄

副座長 宮嶋 睦子

雨尾 直子

石坂 辰義

佐藤 一彦

杉野 勝美

玉手 満男

三上 純

三島 瑞江

箭原 実

1 現状認識

共同利用できる合葬式施設整備を考えるに当たり、当初市から示された現状認識については、その後実施された市民アンケートや地域まちづくり推進協議会、まちづくり対話集会での意見交換の結果も参考にしながら検証、検討した結果、次に示す課題、市民ニーズを踏まえるとの的確なとらえ方であると考えている。

(1) 課題

- ・ 少子高齢化、核家族化等の進行により、墓の承継について不安を抱える市民が増えてきている。
- ・ 家ごとの墓を守っていくことだけではなく、子孫に墓の管理のための苦勞をさせたくない等、市民の価値観が多様化してきている。
- ・ 本市においても、高齢化に伴い死亡者数が増加することが予想され、様々な形態の墓の需要増加への対策が求められる。
- ・ 市営墓地における（墓が承継されないことによる）無縁化への対応が急務である。
- ・ 合葬式施設の整備を望む市民ニーズの高まりへの対応が急務である。

(2) 市民ニーズ

合葬式施設の整備への市民ニーズは高く、承継の不安等の意識や、合葬式施設に望む要素などについて把握できた。

お墓に対する意識に関する市民アンケートの結果から特に注目した項目は、次のとおりである。

質問内容		回答内容		
お墓または納骨堂を持っているか。	持っている 49.6%	お墓や納骨堂を持っていると回答した方のうち、その使用権の承継に不安があるか。	<input type="radio"/> ある・・・56.2% (全回答の27.9%) <input type="radio"/> ない・・・42.3% (全回答の21.0%)	
	持っていない 50.4%	お墓や納骨堂を持っていないと回答した方のうち、今後、使用権を引き継ぐことになったとき、引き受けるか。	<input type="radio"/> 受ける 33.5% <input type="radio"/> 受けない 18.8% <input type="radio"/> 分からない 39.6%	お墓や納骨堂を持っていないと回答した方のうちで、今後、使用権を引き受けると回答した方のうち、承継に不安があるか。 <input type="radio"/> ある・75.8% (全回答の12.8%) <input type="radio"/> ない・22.7% (全回答の3.8%)
		お墓や納骨堂を持っていないと回答した方のうち、将来お墓、納骨堂、合葬式施設の使用を考えているか。	<input type="radio"/> お墓・・・11.7% (全回答の5.9%) <input type="radio"/> 納骨堂・・・14.2% (全回答の7.2%) <input type="radio"/> 合葬式施設・・・25.9% (全回答の13.1%) <input type="radio"/> どれも使用しない・・・5.6% (全回答の2.8%) <input type="radio"/> 分からない・・・41.6% (全回答の21.0%)	
合葬式施設が必要だと思う理由は何か(上位回答)。		<input type="radio"/> 子供や孫などに負担をかけたくないと思うから・・・35.5% <input type="radio"/> 自分の家のお墓が将来的に引き継がれていくことに不安があるから・・・26.3%		
共同利用できる合葬式施設が本市に必要だと思うか。		<input type="radio"/> 必要・・・72.4% <input type="radio"/> 必要ない・・・4.9% <input type="radio"/> 分からない・・・16.1%		
本市に合葬式施設があれば利用したいと思うか。		<input type="radio"/> 利用したい・・・42.2% <input type="radio"/> 利用したくない・・・11.3% <input type="radio"/> 分からない・・・41.9%		
合葬式施設に求める要素は何か(上位回答)。		<input type="radio"/> 使用料の金額が安いこと・・・27.7% <input type="radio"/> 施設等の管理及び整備状態が常に良好な状態に保たれること・・・21.6%		
合葬式施設ができるとしたら、その使用料は、どれくらいが妥当だと考えるか。		<input type="radio"/> 1万円以内・・・34.3% <input type="radio"/> 5万円以内・・・40.9% <input type="radio"/> 10万円以内・・・17.9% <input type="radio"/> 10万円以上・・・2.0%		

※ 第3回資料(市民生活課作成)参考

2 合葬式施設の必要性

- ・ 葬送に関わることは、市民生活に直結する大きな課題であり、中でもお墓の問題は、市民の関心も特に高い。
- ・ お墓に関する課題は、今後ますます複雑化すると思われ、安心な市民の暮らしを確保するためには、一刻も早く解決を図るべきである。
- ・ 合葬式施設は、一つのお墓に多くの遺骨を共同で埋蔵するものであり、従来のお墓のように承継の心配がなく、また、そのような市民ニーズにも合致する施設である。
そのため、現時点では、承継に不安等を感じる市民や価値観の多様化へ対応していく手法として、とても有効な施設であると考えます。
- ・ 会議の一致した意見として、市営の合葬式施設を早期に整備すべきであるという強い気持ちを共有した。

<個別意見>

- ・ 合葬式施設は、選択肢を広げることを目的として整備されるものであり、先祖を敬う気持ちなどを希薄にするような施設になることがないように、この施設の整備を通して、家族のつながりなどを強く意識する機会が増えてほしい。

3 合葬式施設の方向性

(1) “市民のお墓”

- ・ 合葬式施設は，市民が共同で利用できるという形態から“市民のお墓”といえるものである。
- ・ 先人を敬うことができ，訪れる人が安らぎを感じられる施設形態や管理が望ましい。
- ・ 共同利用できる施設として宗教的な中立性，市有施設としての公共性，民間施設との役割の整理が求められると考えた。

(2) 地域の特色を活かした施設

- ・ “市民のお墓”として，地域の特色を活かす中で，旭川に対する様々な思いを抱き，愛着を感じることができるような施設であることが望ましい。
- ・ 従来のお墓に感じられるような寂しい感じとは違う，明るいイメージで市民が気軽に集うことができる施設が望ましい。

(3) 将来に負担をかけない施設及び管理方法等

- ・ 多様化する市民ニーズのすべてに対応することは，現実的に難しい。また，今後，墓に対する意識が変わってくることも想定されるため，将来に過度な負担がかからない施設や管理方法であることが望ましい。

4 具体的な施設整備のイメージ

(1) 早期の整備が可能な設置場所

- ・ 合葬式施設は、「旭川市墓地，埋葬等に関する法律施行条例」等に規定されている墓地等の施設であり，それらの設置基準をクリアする場所を確保することや，付近住民への説明及び理解・同意が必要である。

早期に整備すべきとの強い思いの中で，これらの条件を満たす場所（市有地）としては，「市営墓地」及び「旭川聖苑」がある。

- ・ “市民のお墓”として，明るいイメージで市民が気軽に集うことができ，様々な人が訪れる場所として，墓参に支障がない一定程度の広さの土地が確保できることが望ましい。
- ・ 地域の特色を活かした施設として，旭川らしさがイメージできること，大雪山などの市民が日ごろから親しんでいる自然等，周囲の景観についても優れていることが望ましい。
- ・ 早期整備が可能な場所として，市営墓地の複数箇所及び旭川聖苑を比較検討した結果，現時点で最も優れた候補地は，旭川聖苑と考える。

また，旭川聖苑内では，次に述べる施設規模，形態等を考慮の上，最も早期に整備可能な場所を選択すべきである。

(2) 施設概要

○ 施設規模

- ・ 確保できる用地を考慮しながら、施設全体の大きさや納骨部分の大きさなどを検討することになると思うが、埋蔵可能数については、他都市の先進事例を参考に、旭川市に適切な数字にしてほしい。

○ 施設形態

- ・ 旭川らしさを感じられる点については、地域の特色として旭川の草木であるツツジ、ナナカマドを周囲に配置するなど、施設全体のデザインに配慮し、旭川聖苑の周囲に隣接する旭山公園の樹林などの景観と調和する施設にしてほしい。
- ・ “市民のお墓”であるためには、市民のよりどころとなり、施設を訪れることで心が安まり、簡素な中にもシンボル性が高い施設とすべきである。
- ・ 市民から長く愛され、広く受け入れられる構造物として、芸術性が感じられるモニュメントなどにしてほしいが、その際にはより専門的な見地から検討するなどして、客観性、納得性等を高める必要がある。
- ・ 公園的な要素を取り入れるなど、寂しい感じがしない明るいイメージを持つことができ、誰もが気軽に集うことができるような施設にしてほしい。
- ・ 高齢者等の参拝に配慮し、駐車場からのアクセス性や、高低差に留意する必要がある。

＜個別意見＞

- ・ 樹木葬については、山林を墓地とし、墓標の代わりに小木を植えるタイプやシンボルツリーの周囲に埋蔵するタイプなどがあり、合葬式施設として樹木葬を考えた場合、シンボルツリーの根本と一緒に埋蔵するという方法が考えられる。
樹木の管理について、道外より北海道の方が積雪による影響を受けることが多いと思うが、北海道では従来のお墓でも冬期間は積雪により納骨しないことが多く、広い敷地が確保できる場合などには検討する余地がある。

○ 管理方法等

- ・ “市民のお墓”であるこの施設に眠る人たちの旭川との関わりや生きた証として、氏名、没年などを訪れた人が容易に確認できる方法についても検討してほしい。
その方法は、従来のお墓にあるような墓誌の形にこだわらずに、将来の維持管理に負担がかからないことなどにも配慮してほしい。
- ・ 埋蔵方法について、共同で利用する市民のお墓としての公平性、平等性や整備費、維持管理費を考えたときには、同一のカロート（遺骨を納める部分）に納め、故人の埋蔵位置を明示できる方法が望ましいのではないか。
- ・ 同一のカロートに納める際には、遺骨をそのまま納めるのではなく、人間の尊厳を尊重する観点からも、例えば、自然環境に配慮した素材を利用した袋により納めるなどの工夫が必要ではないか。
- ・ 人が集う施設には、広さのある駐車場、身体に障害のある方も利用できるトイレ、雨天時など一時的に屋内に待機できる施設が近くに必要だと思うが、旭川聖苑であれば、既設の施設を利用できるのではないか。

＜個別意見＞

- ・ 墓誌については、JR旭川駅のプレートのように旭川らしさが伝わるような形についても施設の形態に応じて検討してはどうか。
- ・ 埋蔵方法については、お骨を個別に納めることや、利用者の希望に応じて納め方にグレードを設けるという方法も考えられる。
その際には、遺骨を保管する施設の整備や用地の確保、維持管理への負担を軽減する方法等についても工夫すべきである。

○ 使用料等

- ・ 使用料は、建設費、維持管理費、埋蔵予定数に係るものであるが、市民アンケートの結果や道内他都市の事例を参考に、5万円以内が望ましいのではないかと。
- ・ 使用者の範囲について、他都市の条件を参考に“市民のお墓”として、過去に市に住んでいた方など、広い範囲で多くの方が利用できることを考えてほしい。
- ・ 合葬式施設の目的は、いわゆる無縁墓とは異なるものであるという認識が必要である。

＜個別意見＞

- ・ 遺骨の保管方法などに応じて、使用料にグレードがあってもよい。

5 意見交換の中で出されたその他意見

会議では合葬式施設の整備を検討するに当たり、さまざまな意見交換をしてきた。その中で、会議として強い思いを持った早期整備に当たっての具体像ではないが、関連する内容として、今後留意が必要と思われる意見を付記する。

- ・ 将来的な合葬式施設の需要増等に対応していくときには、市内複数箇所に整備することについても検討する必要がある。
- ・ 合葬式施設を整備し、市民ニーズに対応した選択肢を広げることにより、総合的な視点から“お墓”の維持管理を考える必要がある。例えば既存の市営墓地を使用したい人が使用しやすくなるような管理ということが考えられる。
- ・ 先祖を敬う、親子の絆を深めるという意味から、合葬式施設があるから良いということではなく、形態にかかわらずお墓（先祖）を守る、大事にする気持ちを失ってはいけない。

6 むすび

本検討会議においては、各委員の一人一人が率直な考えを述べるとともに、意見交換をしていく中で、施設を早期に整備することが望まれるという強い思いを共有してきた。

合葬式施設の整備という家族の環境や葬送などにも関係し、それらについて様々な考え方を持つことができる話題の中で、会議として他都市の施設の視察や事務局の視察報告を受けたことは施設に関する知識を深めることができ、市民アンケート、地域まちづくり推進協議会からの意見聴取、まちづくり対話集会での意見の報告を受けたことは、比較的広い範囲の市民の声を意識しながら意見交換をすることができた。

そして、意見交換の中で共有できた内容を市に伝える方法として、このような意見集ができたことは、会議として一定の役割を果たすことができたと考えている。

今後、本意見集を参考にして、市民が安心して暮らすことができる一要素として、合葬式施設が整備されることを期待する。

旭川市合葬式施設検討会議の開催状況等

1 第1回旭川市合葬式施設検討会議

(1) 日時

平成27年7月1日(水) 総合庁舎2階 秘書課第2応接室

(2) 内容

- ・ 挨拶
- ・ 委員紹介
- ・ 検討会議について
- ・ 座長・副座長選出
- ・ 市から経過報告
- ・ 意見交換, その他

2 第2回旭川市合葬式施設検討会議

(1) 日時

平成27年8月4日(水)

(2) 内容

- ・ 道内他都市で整備されている合葬式施設の視察
札幌市(平岸霊園), 江別市(やすらぎ苑)
- ・ 意見交換, その他

3 第3回旭川市合葬式施設検討会議

(1) 日時

平成27年8月26日(水) 第三庁舎保健所棟1階 講座室

(2) 内容

- ・ 市から他都市現地視察の報告等
- ・ 意見交換, その他

4 第4回旭川市合葬式施設検討会議

(1) 日時

平成27年10月7日(水) 第二庁舎3階 健康相談室

(2) 内容

- ・ 前回会議の確認等
- ・ 意見交換, その他

5 第5回旭川市合葬式施設検討会議

(1) 日時

平成27年12月2日(水) 第三庁舎保健所棟1階 講座室

(2) 内容

- ・ 前回会議の確認等
- ・ 意見交換, その他

旭川市合葬式施設検討会議 名簿

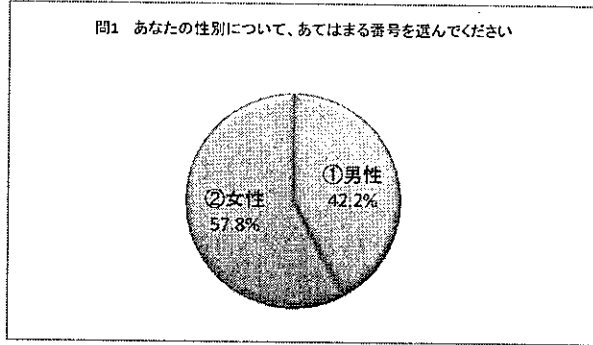
氏名	職業・役職等
雨尾 直子	旭川市民生委員児童委員連絡協議会 理事
石坂 辰義	旭川市市民委員会連絡協議会 会長
佐藤 一彦	グリーンテックス株式会社 代表取締役
杉野 勝美	旭川市老人福祉施設協議会 会長
玉手 満男	市民公募
信木 晴雄	旭川大学 副学長
三上 純	東海大学 名誉教授
三島 瑞江	市民公募
宮嶋 睦子	一般社団法人旭川消費者協会 副会長
箭原 実	社会福祉法人旭川市社会福祉協議会 地域福祉課長

(五十音順：敬称略)

市民アンケート調査結果(平成27年8月21日現在)

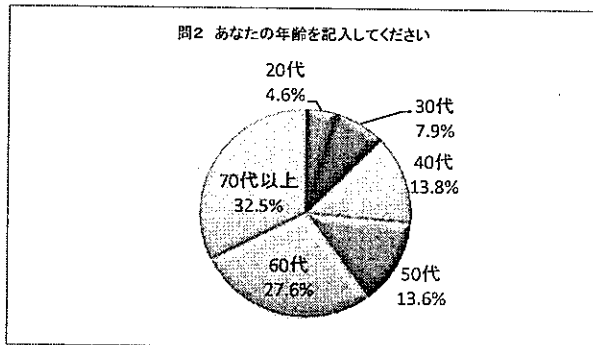
問1 あなたの性別について、あてはまる番号を選んでください。

回答	回答数	%
①男性	165	42.2%
②女性	226	57.8%
総計	391	100.0%



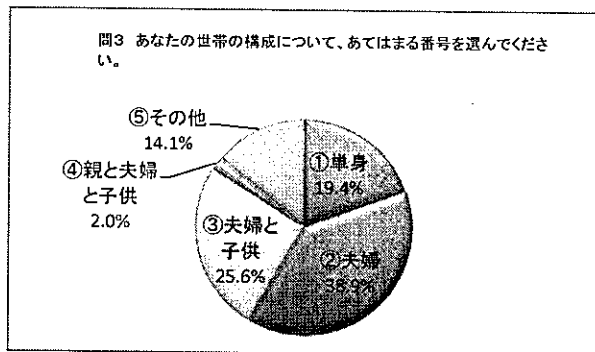
問2 あなたの年齢を記入してください(回答を元に年代別で表しました。)
(平成27年5月1日現在)

回答	回答数	%
20代	18	4.6%
30代	31	7.9%
40代	54	13.8%
50代	53	13.6%
60代	108	27.6%
70代以上	127	32.5%
総計	391	100.0%



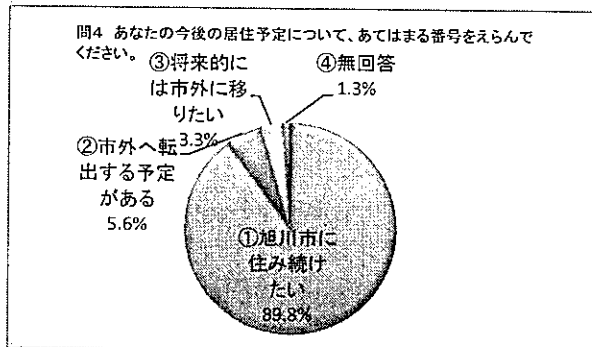
問3 あなたの世帯の構成について、あてはまる番号を選んでください。

回答	回答数	%
①単身	76	19.4%
②夫婦	152	38.9%
③夫婦と子供	100	25.6%
④親と夫婦と子供	8	2.0%
⑤その他	55	14.1%
総計	391	100.0%



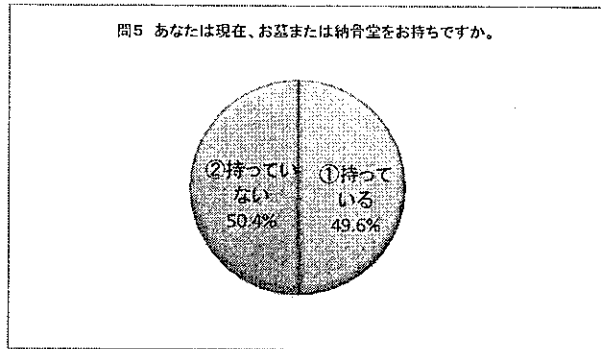
問4 あなたの今後の居住予定について、あてはまる番号を選んでください。

回答	回答数	%
①旭川市に住み続けたい	351	89.8%
②市外へ転出する予定がある	22	5.6%
③将来的には市外に移りたい	13	3.3%
④無回答	5	1.3%
総計	391	100.0%



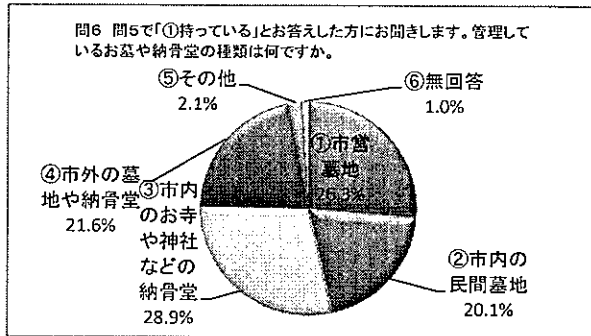
問5 あなたは現在、お墓または納骨堂をお持ちですか。

回答	回答数	%
①持っている	194	49.6%
②持っていない	197	50.4%
総計	391	100.0%



問6 問5で「①持っている」とお答えした方にお聞きます。管理しているお墓や納骨堂の種類は何ですか。

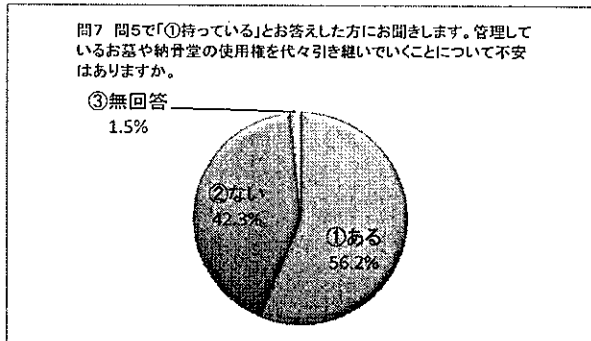
回答	回答数	%
①市営墓地	51	26.3%
②市内の民間墓地	39	20.1%
③市内のお寺や神社などの納骨堂	56	28.9%
④市外の墓地や納骨堂	42	21.6%
⑤その他	4	2.1%
⑥無回答	2	1.0%
総計	194	100.0%



- ⑤その他 (4件)
- ・複数使用 (市営墓地と市内のお寺や神社などの納骨堂) 2名
 - ・複数使用 (市内のお寺や神社などの納骨堂と市外の墓地や納骨堂)
 - ・墓(所有場所不明)

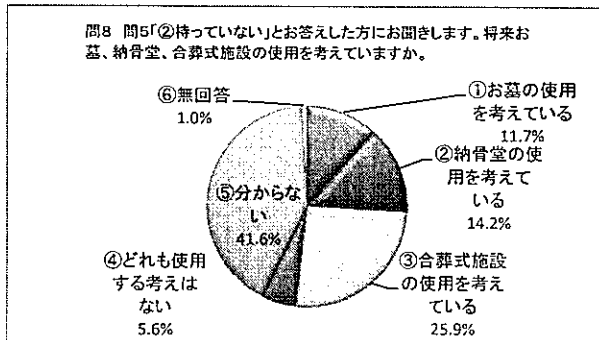
問7 問5で「①持っている」とお答えした方にお聞きます。管理しているお墓や納骨堂の使用権を代々引き継いでいくことについて不安はありますか。

回答	回答数	%
①ある	109	56.2%
②ない	82	42.3%
③無回答	3	1.5%
総計	194	100.0%



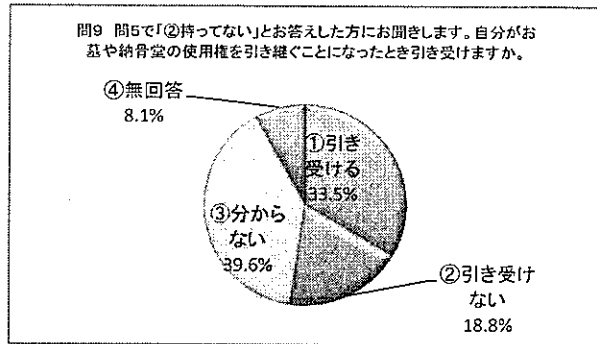
問8 問5で「②持っていない」とお答えした方にお聞きます。将来お墓、納骨堂、合葬式施設の使用を考えていますか。

回答	回答数	%
①お墓の使用を考えている	23	11.7%
②納骨堂の使用を考えている	28	14.2%
③合葬式施設の使用を考えている	51	25.9%
④どれも使用する考えはない	11	5.6%
⑤分からない	82	41.6%
⑥無回答	2	1.0%
総計	197	100.0%



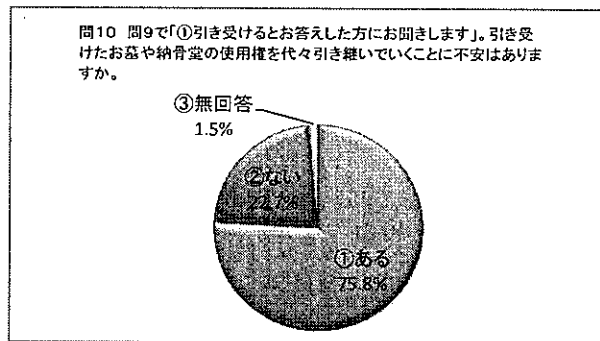
問9 問5で「②持っていない」とお答えした方にお聞きします。自分がお墓や納骨堂の使用権を引き継ぐことになったとき引き受けますか。

回答	回答数	%
①引き受ける	66	33.5%
②引き受けない	37	18.8%
③分からない	78	39.6%
④無回答	16	8.1%
総計	197	100.0%



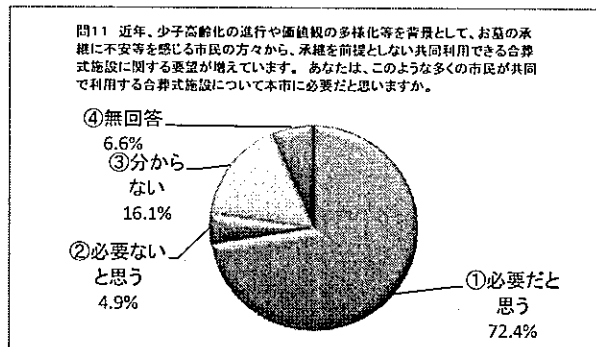
問10 問9で「①引き受ける」とお答えした方にお聞きします。引き受けたお墓や納骨堂の使用権を代々引き継いでいくことについて不安はありますか。

回答	回答数	%
①ある	50	75.8%
②ない	15	22.7%
③無回答	1	1.5%
総計	66	100.0%



問11 近年、少子高齢化の進行や価値観の多様化等を背景として、お墓の承継に不安等を感じる市民の方々から、承継を前提としない共同利用できる合葬式施設に関する要望が増えています。あなたは、このような多くの市民が共同で利用する合葬式施設について本市に必要なと思いますか。

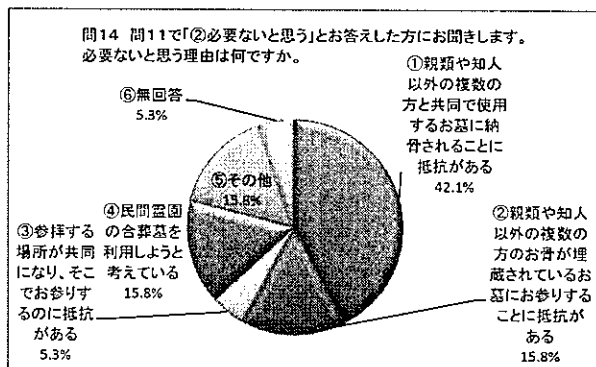
回答	回答数	%
①必要だと思う	283	72.4%
②必要ないと思う	19	4.9%
③分からない	63	16.1%
④無回答	26	6.6%
総計	391	100.0%



問12・13は横棒グラフの為、別シートで表示

問14 問11で「②必要ないと思う」とお答えした方にお聞きします。必要ないと思う理由は何ですか。

回答	回答数	%
①親類や知人以外の複数の方と共同で使用するお墓に納骨することや納骨されることに抵抗がある	8	42.1%
②親類や知人以外の複数の方のお骨が埋蔵されているお墓にお参りすることに抵抗がある	3	15.8%
③参拝する場所が共同になり、そこでお参りするのに抵抗がある	1	5.3%
④民間霊園の合葬墓を利用しようと考えている	3	15.8%
⑤その他	3	15.8%
⑥無回答	1	5.3%
総計	19	100.0%

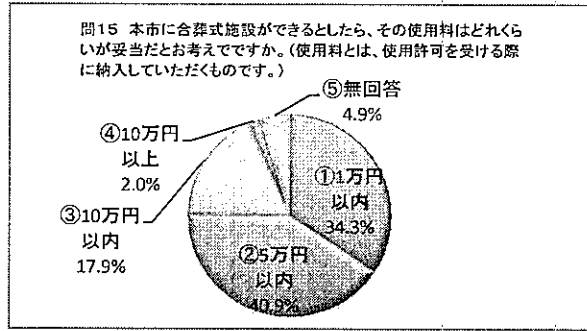


⑤その他 (3件)

- ・散骨予定
- ・自己責任で考えればいいこと。
- ・墓そのものの必要性がない(共同・個人にかかわらず)

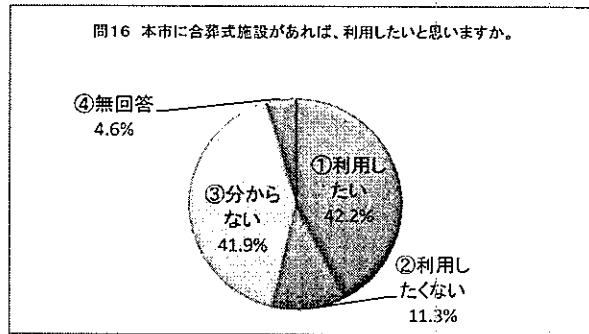
問15 本市に合葬式施設ができるとしたら、その使用料は、どれくらいが妥当だとお考えですか。
 (使用料とは、使用許可を受ける際に納入していただくものです。)

回答	回答数	%
①1万円以内	134	34.3%
②5万円以内	160	40.9%
③10万円以内	70	17.9%
④10万円以上	8	2.0%
⑤無回答	19	4.9%
総計	391	100.0%



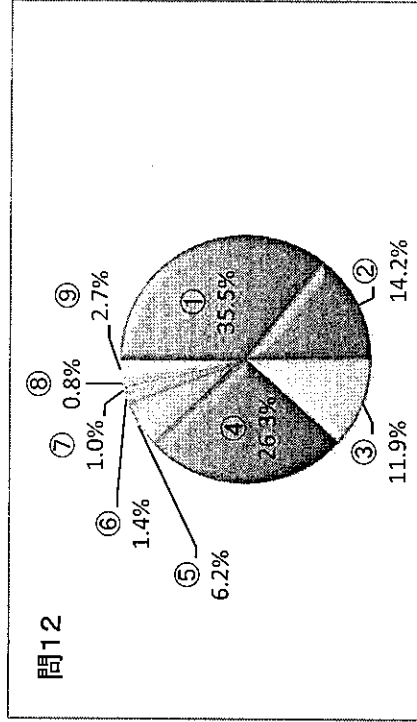
問16 本市に合葬式施設があれば、利用したいと思いますか。

回答	回答数	%
①利用したい	165	42.2%
②利用したくない	44	11.3%
③分からない	164	41.9%
④無回答	18	4.6%
総計	391	100.0%

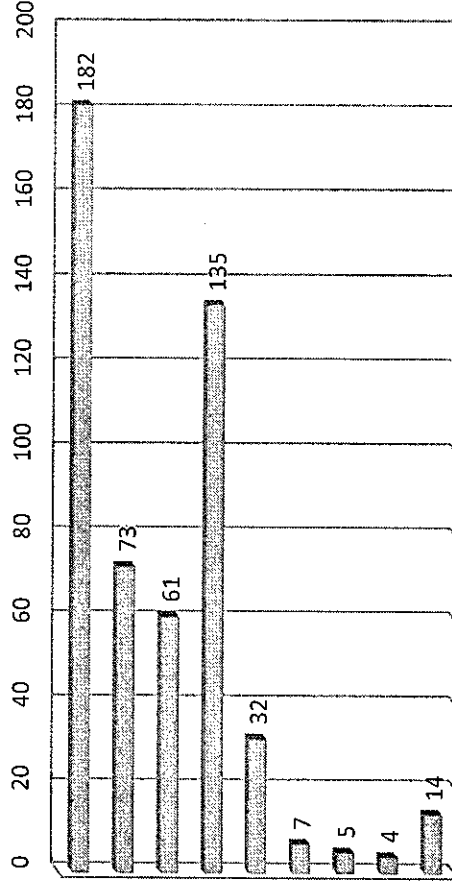


問12 問11で「①必要だと思う」とお答えした方にお聞きします。必要だと思う理由は何ですか(複数回答2個まで)

回答	回答数	%
①子供や孫などに負担をかけたくないと思うから	182	35.5%
②お墓の清掃など管理の必要がないから	73	14.2%
③一般的な墓地に比べ費用が安いと思うから	61	11.9%
④自分の家のお墓が将来的に引き継がれていくことに不安があるから	135	26.3%
⑤自分の将来のために、生前に納骨する場所を確保したいから	32	6.2%
⑥市内に管理しているお墓があるが、そこに納めている骨を移したいから	7	1.4%
⑦市外に管理しているお墓があるが、そこに納めている骨を移したいから	5	1.0%
⑧現在、遺骨を所有しているが、埋蔵するお墓がないから	4	0.8%
⑨その他	14	2.7%
総計	513	100.0%



問12 問11で「①必要だと思う」とお答えした方にお聞きします。必要だと思う理由は何ですか。(複数回答2個まで)

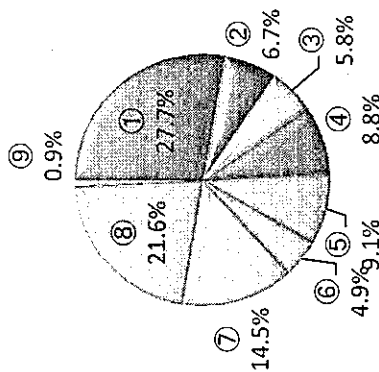


- ①子供や孫などに負担をかけたくないと思うから
- ②お墓の清掃など管理の必要がないから
- ③一般的な墓地に比べ費用が安いと思うから
- ④自分の家のお墓が将来的に引き継がれていくことに不安があるから
- ⑤自分の将来のために、生前に納骨する場所を確保したいから
- ⑥市内に管理しているお墓があるが、そこに納めている骨を移したいから
- ⑦市外に管理しているお墓があるが、そこに納めている骨を移したいから
- ⑧現在、遺骨を所有しているが、埋蔵するお墓がないから
- ⑨その他

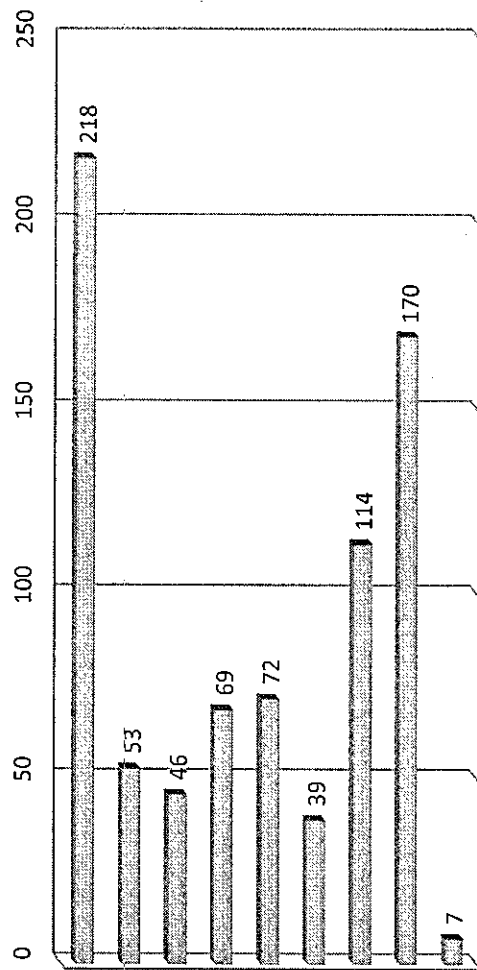
問13 問11で「①必要だと思う」とお答えした方にお聞きします。合葬式施設に求める要素は何ですか。(複数回答3個まで)

回答	回答数	%
①使用料の金額が安いこと	218	27.7%
②周辺の見晴らしなどの雰囲気や環境がよいこと	53	6.7%
③お参りする人以外にも集えるような施設であること	46	5.8%
④従来のお墓の形にとらわれないシンボル性のある施設であること	69	8.8%
⑤あまり華美ではない簡素な施設であること	72	9.1%
⑥自宅からの距離が近いこと	39	4.9%
⑦交通の便がよいこと	114	14.5%
⑧施設等の管理及び整備状態が常に良好な状態に保たれること	170	21.6%
⑨その他	7	0.9%
総計	788	100.0%

問13



問13 問11で「①必要だと思う」とお答えした方にお聞きします。合葬式施設に求める要素は何ですか。(複数回答3個まで)



- ①使用料の金額が安いこと
- ②周辺の見晴らしなどの雰囲気や環境がよいこと
- ③お参りする人以外にも集えるような施設であること
- ④従来のお墓の形にとらわれないシンボル性のある施設であること
- ⑤あまり華美ではない簡素な施設であること
- ⑥自宅からの距離が近いこと
- ⑦交通の便がよいこと
- ⑧施設等の管理及び整備状態が常に良好な状態に保たれること
- ⑨その他

問12 ⑨その他(14件)

- ・これからは、独身の人が多くなると思うから
- ・合葬施設の中身がよく見えてこないのが具体的にわからない。答えが出せない。
- ・今、現在の心配はないが、今後必要になることもあると思う。
- ・子供がいない為
- ・子孫がない人には必要だと思いません。
- ・私達の代で終わり墓じまいを考えている。
- ・自分の墓を持ってない人がいると思うから。
- ・自分自身ではなく、身寄りのない人が多くいると思うから
- ・自分達に関してはまだあまり考えていないが、子供がいないご夫婦には必要な物である事は間違いないと思う。
- ・身内であるのに関わらず、先人の方達はきちんとおまつりした方がよいと思うから。
- ・当家としては今のところ必要を感じないが、市民全体として考えると合葬施設はあった方がよいと思える。
- ・⑨その他選んでいるが記入なし。
- ・必要だと要望する人が増えているなら公的機関は(国、道、市など)はそれに応える義務があると思われるから。
- ・墓(個人での)の必要性を感じない人が増加すると思うから。

問13 ⑨その他(7件)

- ・子供や孫に経済的な負担を掛けたくない。・墓守は大切な事と思いますが、いろんな面で大変なので将来の事を思うと考えさせられます。
- ・⑨その他選んでいるが記入なし。
- ・お墓の承継ができない方など共同利用できる施設があることは今後ニーズに応えたいと思います。
- ・テザイン性はあるが、簡素で管理しやすく、安い施設。
- ・交通の便が良く誰でも、気軽に参りできる合葬施設であれば良いと思う。
- ・今の所、孫がいないので将来的にお墓の管理はできない。
- ・少子高齢化が進めば、合葬式施設を希望する人々が多くなると思うから。

問17 合葬式施設に関する御意見や御感想などがございましたら御記入ください。

- ・想像出来ません。もっと詳細な説明が必要だと思います。
- ・※核家族化が進むなか、合葬式施設の需要は多くなると思います。子孫の考えにもよりますが、個人としては設立を希望いたします。※別ではありますが、旧墓地は、通路の不便な箇所も多々あり早期の整備を、お願いいたします。
- ・①少子化につき子供が近くに住まない。②本州に就職したら戻ってこない。③旭川市に絶対必要です。お願いします。
- ・お墓の問題は、今後、重要なことだと思います。他人事ではないので、本気で考えていかなければならないと思っています。
- ・お墓建立費(購入)、管理費の高額化のすう勢から、旭川市民なら安価で利用できる施設は歓迎します。
- ・このようなアンケートを取ることは良い事だと思います。
- ・さまざまな家庭がある中で合葬式施設があるのは利用する方も多くいると思います。
- ・ぜひ早急な整備をお願いします。
- ・まだ自分の墓があるのでわからない。
- ・もっと幅広く意見を聞くべきだと思います。これからはお墓の管理承継は難しいのでは、無縁墓地になる前の一石かなとも思います。
- ・旭川に合葬施設がないため、札幌市にある真駒内霊園の合葬施設を買い求めております。(取得済み)
- ・旭川市で合葬式施設が必要なのかわからない。税金の使い方を考えて欲しい。市営墓地はいい。
- ・旭川市には、合葬式施設は、必要と思っています。ぜひ、整備してほしい。私は利用したいと思っています。なお、使用料も15万円位までよいのではと考えています。
- ・旭川市の納骨堂を検討したことがあるが料金が高く、また、親族から納骨はいつまでも骨が残っていて、土に還らないかと嫌っている人が多かったです。
- ・旭川市も少子高齢化が進むと思いますので、合葬式施設は必要だと思います。現在は忠和に住んでいて、神居墓地に当家の墓があります。
- ・維持・管理していくことが一番の課題になると 생각합니다。使用料(上記の)とは別途、管理料というものが必要になるのか。物理的に合葬(管理)が難しいことから合同での施設を利用したいと思う人の中には使用料(管理料)というお金を納める事が困難になる人もいるかと思うのでくれぐれもご精査の上にご検討を重ねていただきたいと思っています。
- ・一日も早く旭川に出来ることを望んでおります。
- ・一日も早く作って下さい。待っています。また、他の町で土葬してあったが、墓を本市に移した時にお骨を移さず墓のみを建ててあります。このような場合でも合葬できるようにしてください。よろしくお願いいたします。(父と母、姉はお骨なし)
- ・一般にはある種の観念(宗教観)により火葬後の「骨」は大事に扱われる。しかし近年その観念も変化しつつ簡素化の方向にあり、また社会的要因もあり「骨」(=墓、納骨堂)の継続的取扱いに問題が生じている。この傾向は今後更に進むことが予想されることから、公立合葬施設のニーズは大きくなるだろうし、早期の建立が望まれる。
- ・永代供養してくれることなのでどうか…。中身がわからないので、答えに困ってしまいました。
- ・核家族化により、宗教・倫理観が希薄であり、将来的に合葬化になると思う。旭川市は是非合葬墓を推進して欲しい。
- ・義姉が金銭的なことで(後継など)大変心配しています。ぜひ、合葬式を進めてほしいと思います。
- ・建設地や建設費用など難しい問題があると思いますが、出来るだけ早く実現してください。
- ・現在、寺の納骨堂に(仏壇が設置されているので)購入。(40万～50万前後)…。身内・親類関係4家が同じ同列場所所有して、お参りなどは大変利用しやすい。(お参り時会うことができて利点あり)…。永代供養契約。
- ・現在は納骨堂があるのですが、いずれ入れきれなくなるので、どうしようか心配していました。早くそのような施設ができれば良いと考えています。
- ・現代では、少子高齢化が進んでいるので、これから先、葬式やお墓のことで不安に感じている人達も多いと思います。時代や背景が変わっていくので、新しい試みは大事だと思ふ、必要だと思います。
- ・考えたことない。大事な人だから合同にしたいくない。
- ・行きやすい場所が良いと思います。
- ・高齢化が進む中、後継者がいないことも多いので合葬式はいいことだと思います。
- ・合葬を希望した人達が全員、利用出来る様にしてほしいと思います。
- ・合葬施設 きれいに保ってもらいたいので、月15=10万円以上又、管理費を数年分、徴収出来る様(最初に徴収出来る様(最初に徴収出来るシステムであれば払う人が多いと思う))
- ・合葬式施設があるという事は現代社会では良いことだと思います。幸い、我が家は後継者がいますが、それほどのようになるか我々の意に添ってくれるのかもわかりません。今、多くの人がそのような思いでいるのかも知れません。独り身の人は特に……。

- ・合葬式施設があればとずっと思っていました。なかなか実現しそうになく、だんだん必要にせまられる年齢となり、勤められるまま、市内のお寺の墓地を購入しました。もう少し早ければな一と残念です。
- ・合葬式施設ができるように頑張ってください。かげながら応援しています。
- ・合葬式施設を希望します。
- ・今の時代は実の親子の関係でも、行き来もほとんど無いような感じで親が入院したとか具合が悪いと言っても嫌みを言われたり、お金がかからんだ時だけは手を出してくるような世の中だから、身内には一切、世話にならない。合葬式施設はこれから絶対必要になっていくと思います。
- ・今後、お墓を持っている方も、後継者がいなくなったり、いても放置され墓地が荒れていく恐れもあるので、ぜひ合葬式施設を造っていただきたいです。旭川は土地もたくさんあるので公園のような大雪山系と十勝連峰が見渡せる場所にぜひ！
- ・今後、少子化が続き、又、子供の勤務先も遠くになっている事も多く墓の管理が難しい。
- ・最近、合葬が注目されている様ですが、もう少し具体的に分かれれば良いと思っています。
- ・昨年、今後の管理に対する不安があった為、親が所有していたお墓を取りこわし納骨堂に変えました。今後そういった管理に対する不安を持つ方は、増えると思われまので合葬式施設は必要だと思います。
- ・散骨を考えていた私共夫婦には合葬式施設はとも良いお話です。これからの大変な時代の子供達にとってお墓や納骨堂は維持費も含め負の遺産とと考えています。ただ若くして伴侶を亡くされた方はお墓を持つお気持ちほとんども理解できます。
- ・賛否の結論を早く出して下さい。
- ・子や孫のためにぜひ合葬施設を作ってください。
- ・子供がいらないので先祖代々のお墓や納骨堂を守っていくことが不安になります。このような施設があれば年老いても安心です。
- ・子供が道外に住み、お墓の管理ができない。又はひとりっ子の子の為、両方の親のお墓の面倒をみなければならぬ等の負担を考えると、合葬式施設は今後必要と思います。
- ・子供が未婚で後世への承継が出来ない為、いずれは現在あるお墓も整理する方向になると思ってます。手頃な料金で利用できるのであれば有り難い事です。
- ・子供の居住地が遠外など遠隔地の場合、本市の施設が利用できるかどうか分からない場合が考えられます。施設間の柔軟な利用への対応も必要と思われま。
- ・子供達に負担をかけたくない気持ちがあります。お墓はなくてもお骨だけでも、納める所があればと思います。
- ・市の方におまかせたいと思います。
- ・市内の民間の墓地を持っているが、年金生活のため、管理費などの負担が大きくなります。よって施設があれば良いです。
- ・施設の維持、管理等、必ず市の財政負担、職員の負担(人員を増やさない)を伴うものになるから。利益が出るならOKだが。
- ・施設以前の問題として遺骨の処遇をどのように対処するのかが大きな問題と考えま。旧来であれば古いものが墓地の中で朽ちていくものですが納骨堂、墓地、共にたまる一方です。
- ・私のところは、将来、お墓を引き継ぐものがいまないので、合葬式施設をぜひ作ってください。
- ・私は利用したいですが、夫はわかりません。
- ・私達には子供もなく、本来ならば、合葬墓の施設はすごくありがたいことと思います。でも、お参りしてもらえないのならさういった施設より自然に帰ることを望んでいます。散骨ということも考えたりしますが現実問題いかがなのか？今は子供がいても同じような悩みをかかえている方は多いことと思います。何が良い方法なのか…。たださういった施設も選択肢のひとつなのだと…。
- ・自分たちには子供がいまないので、このような施設にはとても関心があります。特に樹木葬というので、あのように自然に土にかえられるような場所がもつとあればと考えま。
- ・自分は合葬式施設のある納骨堂を持っているので、市営の合葬式施設は利用しないと思うが、合葬式を希望する方は今後増えると思う。
- ・樹木を中心に植えて(例えば桜の木など)樹木葬になるかな？
- ・出来るだけ早く施設が建設される様、お願いしたい。
- ・少子化、死生観の変化などから、墓、埋葬に対する価値観も従来の型に、はまらなくなっていると思いま。伝統的な形を継続したい方も、それがかなわない方も、或いは独自の形をとりたい方も共存できるとよいと思う。
- ・少子化に伴い、遺骨の管理は、今後の課題と推測される施設立地は郊外の駐車スペースのあるところを希望(年に数回の開園で十分です)
- ・少子化の中、継承者の問題もあり、合葬施設には賛成です。
- ・少子化問題もあり、近年、墓じまいや納骨堂の使いやすさとかをよく目に見ま。低料金で使いやすい施設があれば、利用する方も増えていくのではないでしようか。低所得者にもやさしい施設をどうぞよろしくお願いま。
- ・少子高齢の時代～旭川でもこのような施設が必要になっただことに驚いていま。できれば3～5年以内に実現していただきたいと思いま。

・少子高齢化が進むなか自身の死後と向かい合う年齢となり不安を感じていた所です。家族間でお墓の考え方の違いはありますが、現実を見ると合葬式施設の必要性はあると思います。

・少子高齢化が進めば、今以上に困る方が増えると思います。市民全員が不公平感なく利用できる施設であってほしいと思います。

・少子高齢化に加え、子・孫など地元を離れることも多いので墓の管理も難しさがあるし、葬祭の考え方も時代と共に変化ってきているので、合葬もやむを得なくなってきたと思う。

・信仰している宗教がないのに、お墓というのに抵抗があります。建物の施設ばかりでなく、自然葬ができるような場所も検討してほしいです。

・神楽ですがはつきり名前忘れてしまいました。認知症になってしまったので、主人は陸軍の軍人です。今も恩給頂いております。乱筆にてすみません。ありがとうございます。

・親の死後、法事で親戚付き合ひの問題に頭を悩ませています。自由にだれでもいつでもお参りできずように。

・石の墓は守る人がいなくなつて放置されている自治体がある。住人のいない放置家屋と同様困る時が来る。骨董が過ぎる。両手に納まる位。コーヒーカップ位大・中・小で選んでもらうのは？どうでしょうか。私はカップ位。プータンではおにぎり位の大きさに固めた状態で人目につ所にさりげなく積まれていて墓参りはなし。(テレビで知る。)

・全天候型でバリアフリー化がなされた施設で将来的に拡張可能な規模が必要だと考えます。

・早い段階で実現してほしいですね。

・他人と同じお墓に入ることには抵抗はありますが、将来的に1人になってしまふ人であれば必要になってくるのでは・・・と思います。

・代々の墓を継承する慣習がうすれていくなかで、子供、孫が少なく、しかもいない家庭も増えている今の時代に必要なことと思う。

・大変良いことなので、必ず実現して下さい。

・地球上に生まれた人類はみんな平等で差別を受ける事はあり得ない、合同で埋蔵されることに異論はない。合葬

・年に何回か追善供養が必要であり、使用料にこれら料金を含むべきで、只単に合葬すれば良い事ではないと存じます。

・年月が経過すると従来のお盆とかの意味合いが薄れていく気がします。旭川に於いては時期尚早感もあります。

・納骨堂や合同墓だけではなく樹木葬などで活用出来るように。持墓があつても、本人の意志で選べる方法があつてもよいと(場所など)

・納骨堂を第一に希望するが、できなければ、合葬式施設を望む。

・納骨堂を利用しますが、維持する為の管理費用の負担が大きいです。今後、引き継がれていくのが困難な為、生活の負担の軽減や永代供養(安心出来る様)と安心できる施設がもっと沢山利用可能な状況を作つて欲しいです。

・必ずしも所有しなければならぬ、という考えばかりではないと思うので、一つのお墓に共同で使用する事に問題がないのであれば、合葬式施設はあつてもいいと思つています。

・本州方面では年間2500円位とか？お聞きしますが、すでに国内で始めている施設あり。良いと思います。

・無縁仏となつて放置されているお墓を見るとこれから益々増える様に思う。少ないスペースで気軽に来れるものがあれば最高と思います。

・現時点で希望者最少でも次世代では必ず浮上する問題と推測できます。設置の方向で一步進められたし。高齢者最後の福祉と位置付けられたし。

・問12であります様に、必要と感じています。(娘や孫に負担をかけたくないです)

・自分達(家族)が死後、お墓等の管理をしてくれる者がいないのは是非、この施設が建設されることを望みます。

・価値観、宗教観、歴史観、政治観等の違いを集約せねばならない。時代観だけなら合葬墓が適していると思う。

・子供達が遠くに(関東方面)居ますので旭川に住んでいる時はどちらからかいかなくなつた場合は合葬式施設があれば助かりますね。だんだんと人口も少なくなり、誰もが将来不安をもつてくる時代です。その施設があれば安心します。

・問13の要素がいくつか満たされていてそのために、施設の建設費、管理費、整備費がかかるなら、問15の使用料については④10万円以上でも差し支えありません。むしろ、著しく低価、安価にしない方が将来的に問題を生ずる利用者を予め排除できると思います。

・民間にまかせろ。

・旧来の陰気くさいイメージではなく、雰囲気のように、明るく気軽に立ち寄れる施設であつてほしいと思います。

・夫が3月14日に亡くなりました。お寺さんから納骨堂の話が出ています。もう少し早くこの話が具体的に進んでいたらと残念です。

・ぜひとも早急に合葬式施設の整備をお願いいたします。

・優先して作る物ではないと思つている。

・遊園、公園的施設ではなく、自然が多く、静かにねむれて、休める施設であつてほしい。大雪の山々の自然をながめられる場所、運営管理は責任を持たれる公の機関が運営を希望します。

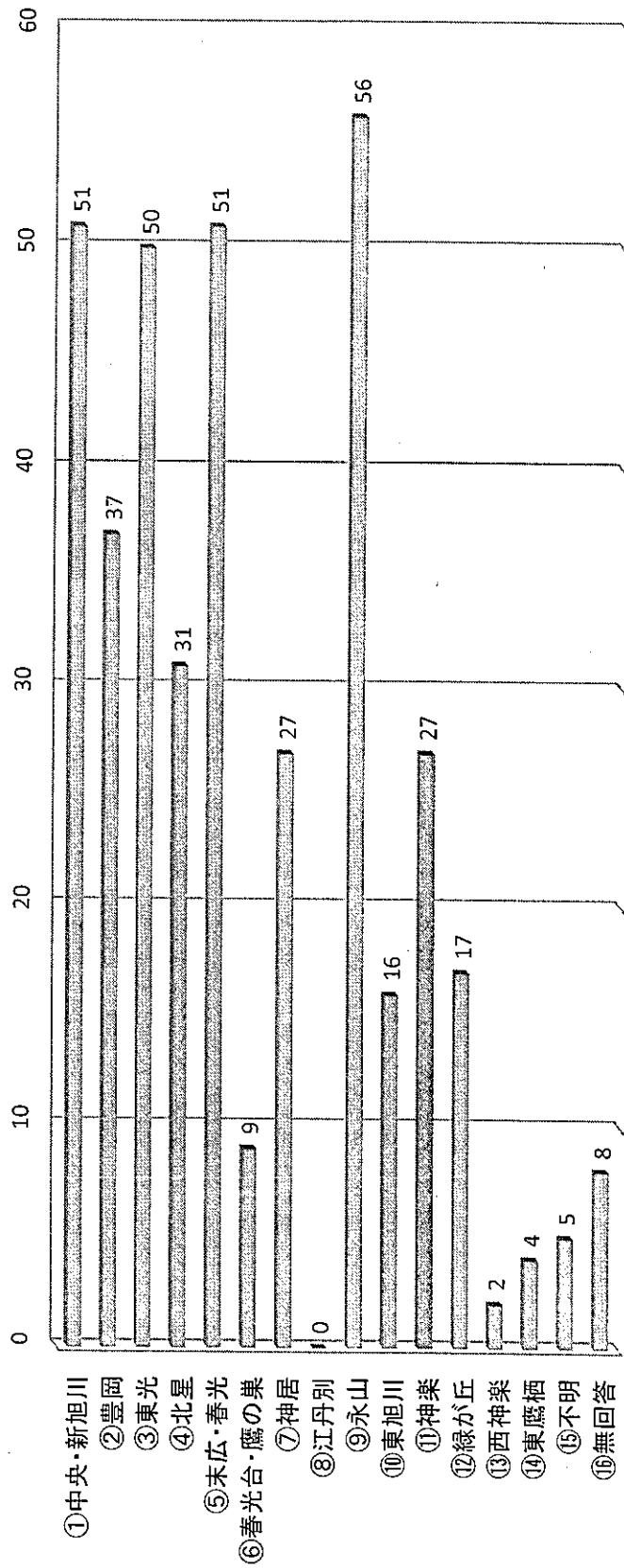
・利用してみたい反面、いざとなると不安。分らない部分が多々あります。

・隣の納骨堂で準備しておりますが、子供、孫の代での引継ぎについて不安がありますので、合葬式施設も考えられます。

問18 あなたの居住地区について、あてはまる番号を記入してください。※あてはまらない場合、分からない場合は回答欄に簡単に記入してください。

回答	回答数
①中央・新旭川	51
②豊岡	37
③東光	50
④北星	31
⑤末広・春光	51
⑥春光台・鷹の巣	9
⑦神居	27
⑧江丹別	0
⑨永山	56
⑩東旭川	16
⑪神楽	27
⑫緑が丘	17
⑬西神楽	2
⑭東鷹栖	4
⑮不明	5
⑯無回答	8
総計	391

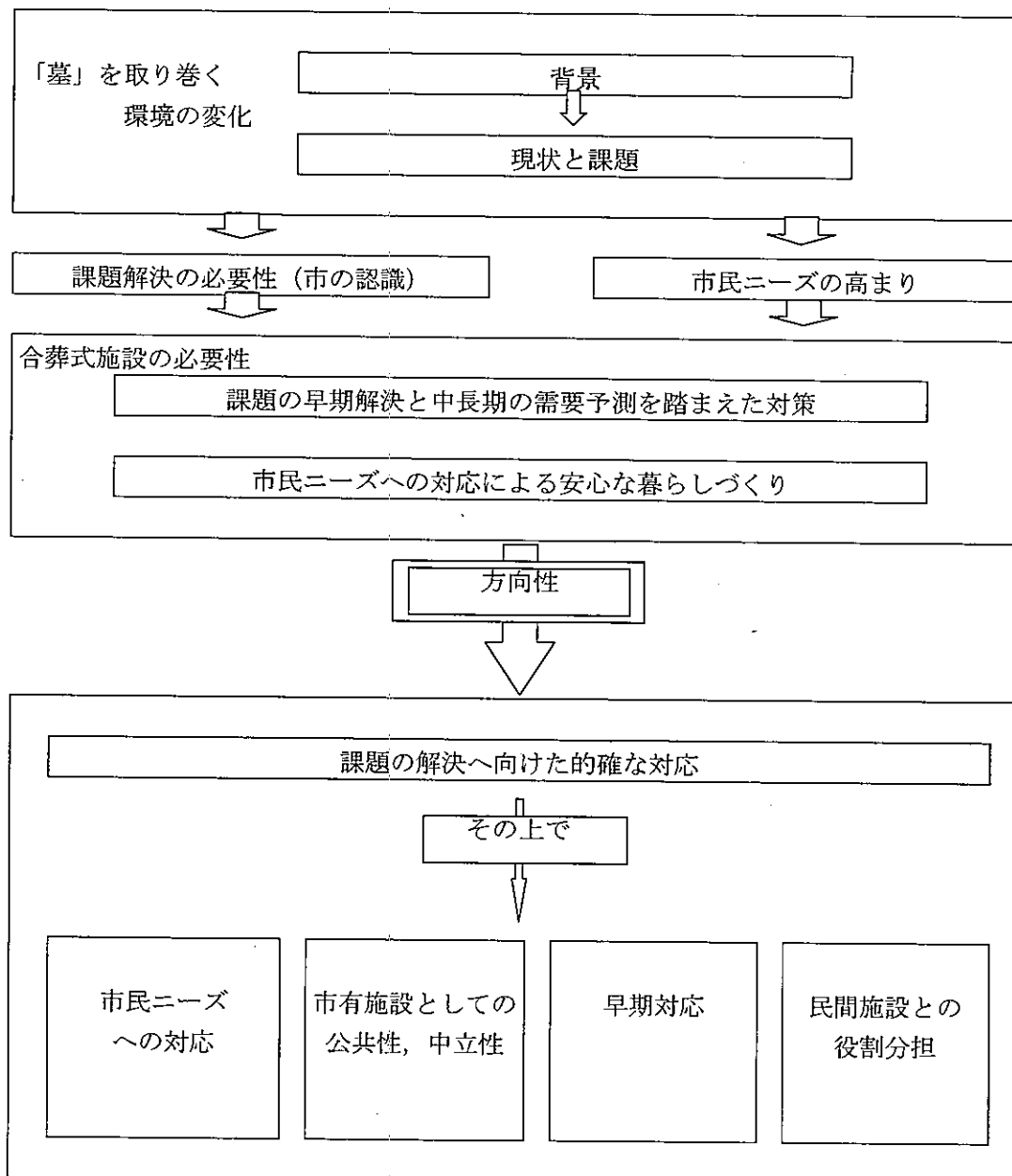
問18 あなたの居住地区について、あてはまる番号を記入してください。
※あてはまらない場合、分からない場合は回答欄に簡単に記入してください。



「共同利用できる合葬式施設整備の基本的考え方」

超高齢社会を迎える中で、「墓」を取り巻く環境が急速に変化し、新たな課題が生じてきた。

市として、こうした課題や市民ニーズの多様化等に対応した新たな施設（合葬式施設）を整備する必要があると認識している。



合葬式施設整備の必要性

1 現状と課題

- ・ 少子高齢化，核家族化等の進行により，墓の承継について不安を抱える市民が増えてきている。
- ・ 家ごとの墓にこだわらない共同利用の許容等，ライフスタイルの変化等とともに市民の価値観が多様化してきている。
- ・ 本市は医療・福祉施設の集積していること等により他都市から本市へ高齢者が流入し，高齢者が増加しているという状況が見受けられる。
- ・ 高齢化に伴い死亡者数が増加することによる墓の需要の増加への対策が求められる。
- ・ 市営墓地における（墓が承継されないことによる）無縁化への対応が急務である。

超高齢社会に関する課題に早急に対応するとともに，既存の市営墓地の効率的な活用や墓の適正管理を一層進める必要がある。

2 市民ニーズの高まり

合葬式施設の整備を望む市民ニーズが年々高まっている。

- ・ 市長への手紙や電話，窓口での相談において合葬式施設の整備に関する要望の件数が増加してきている。
- ・ 旭川消費者協会等関係団体との意見交換の場面において，合葬式施設の整備に対する要望が寄せられている。

課題の早期解決と中長期の需要予測を踏まえた対策及び市民ニーズへの対応による安心な暮らしづくりのために合葬式施設を整備する必要がある。

市が整備する合葬式施設の方向性

1 市民ニーズへの対応

墓の承継に不安等を抱える市民からの合葬式施設に対するニーズが高まる中で、そのニーズを十分精査し、対応することにより、市民の暮らしの安心に資する施設であること。

2 市有施設としての公共性・中立性

宗教的な中立等、市有施設としての公共性を踏まえた施設形態や機能、管理の在り方等を見極めながら“市営合葬墓”としてふさわしいものとする。

3 早期対応

超高齢社会による死亡者数の増加に伴う墓の需要の増加が見込まれる中で、その需要に応じていくためには、できる限り早期に対策を講じることとなる施設であること。

4 民間施設との役割の整理

多様化する墓地（墓）の需要に対し、既に大きく貢献してきた民間霊園との役割分担を踏まえ、市営合葬墓として担うべき役割を果たせる施設であること。

○ 合葬式施設のイメージ

訪れる人たちが共通のイメージを持つことができ、多くの人から受け入れられ、合葬式施設であるということが明確に分かるもの。

設置場所及び施設形態

上記方向性を踏まえた施設とするための場所、施設形態については、機能面、デザイン面等から幅広く検討し、決定する。

・ 整理、検討すべき事項

機能面 需要予測に見合った施設規模
納骨方法に応じた施設機能（納骨方法の選択）
駐車場、トイレ等の利便施設
献花台、墓誌等の付帯設備
交通の便
その他市営施設として有すべき機能 など

デザイン面 市の施設としてふさわしい墓碑のデザイン
周辺環境との親和性、ロケーション
施設からの景観
ユニバーサルデザインへの配慮など

1 設置場所

- ・ 合葬式施設は、「旭川市墓地，埋葬等に関する法律施行条例」等に規定されている墓地等の施設となるため，それらの基準をクリアする場所を確保する。
- ・ 周囲の景観や利用者の利便性等を十分検討した上で，必要な規模の面積を確保する。

候補地の比較検討

設置場所	メリット	デメリット
市営墓地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 墓埋法基準に対応 ・ 交通の便は比較的よい ・ 地域主体のまちづくりとも連動した新しいタイプの合葬式施設を実現できる可能性がある ・ 2号墓地の場合，旧管理人住宅の跡地を活用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 用地の関係から規模が制限される（2号墓地以外は特に制限） ・ 地域による管理運営を検討した場合，その合意や支援策，条件整備等に時間を要する ・ ニーズとしての「本市の特色的要素を持つ合葬墓」の課題は残る ・ 複数ある市営墓地への対応
旭川聖苑	<ul style="list-style-type: none"> ・ 墓埋法基準に対応 ・ 周辺環境，見晴らし良好 ・ 聖苑との一体的管理が可能 ・ 聖苑の駐車場，トイレの利用可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通の便 ・ 聖苑利用者への影響（混雑等） ・ 建設費が大きくなる
新規確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心部 ・ 郊外 	<p>○中心部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通の便はよい ・ 人が集まりやすい <p>○郊外</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広い用地の確保の可能性 ・ 見晴らし良好の可能性 	<p>○共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 墓埋法基準の検討 ・ 付近住民への説明 <p>○中心部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 用地確保が困難 ・ 確保できる面積が小さい <p>○郊外</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通の便

2 施設形態

- ・ 他都市の先進事例から見て，合葬式施設の形態としては，大きく二つのタイプに分けられる。
- ・ 市民ニーズや本市の特性等を勘案しながら，本市にふさわしい施設形態とする。

タイプ別の比較検討

施設形状	メリット	デメリット
メモリアル施設	<ul style="list-style-type: none">・ 中規模以上の施設が想定されるため、デザイン面で柔軟に対応しやすく、シンボル性やメッセージ性を発揮しやすい	<ul style="list-style-type: none">・ 施設機能やデザインに応じた規模の用地確保・ 建設費が大きくなる（駅の彫刻参考：基金額1,430万円）
納骨塚タイプ	<ul style="list-style-type: none">・ 建設費が比較的少なくて済む（小樽市参考：約670万円）・ 小さい用地でも整備ができる	<ul style="list-style-type: none">・ ニーズとしての「本市の特色的要素を持つ合葬墓」の課題に対応しづらい

施設管理の方法

施設の管理については、他都市の事例等から直営管理、指定管理その他業務委託等が考えられるが、設置場所や施設形態を踏まえた方法とする。

- ・ 整理、検討すべき事項
 - 設置場所及び施設形態等に応じた管理運営料金体系
 - ランニングコスト など